

# べっふ 市議会だより



No.157  
2021.11.1

© Team Beppyon

“市民の安全・安心を継続して確保するため、コロナ対策にもしっかりと取り組み、コロナ禍にあっても進めるべき事業は着々と進める”

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会（令和2年度決算認定審査）意見書
- P 6~10 一般質問（14名が市政を問う）
- P11 新型コロナウイルス感染症関連記事
- P12 編集後記 ほか



# 令和3年第3回定例会で33の議案を可決!

8月31日から9月27日までの28日間にわたり開催された今定例会では、予算関係5件、条例関係5件、その他12件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件6件、さらに議会より、議員提出議案5件、請願1件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、旧山の手中学校跡地に開設している別府市PCR検査センターの開設期間を12月末まで延長する経費についての説明に加え、防災対策を強化するため、災害時に各避難所へ速やかに物資を輸送できるよ

う防災用備蓄倉庫を整備することに伴い、当該整備に係る測量設計等委託料の計上等について説明があり「新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費」「地震津波被害防止対策に要する経費」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、4件の議案と1件の請願について、一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件が否決され、請願1件が不採択となりました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第6号)9月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 議会事務に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・917万円

「BEPPU×デジタルファースト宣言」により議会のペーパーレス化を推進するため、タブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入し、議会運営の効率化を図ります。

#### 感染症対策業務従事員雇用に要する経費・・・・・・・・・・4,667万円

4月～9月の6か月間雇用予定であった感染症対策従事員(会計年度任用職員)を令和4年3月まで継続雇用します。

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費・・・・・・・・・・2億2,473万円

新型コロナウイルス感染拡大を防止し、市民の安心・安全を確保するため、「別府市PCR検査センター」の開設期間を延長します。

#### 市営温泉に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・495万円

- (1)「北浜温泉テルマス」を廃止することに伴い、入浴回数券購入者に対し、回数券未使用分を返金します。
- (2)「鉄輪むし湯」の指定管理者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減収負担金を支出します。

### ●条例の制定及び一部改正

#### 別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した職員の特殊勤務手当の特例を定めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

#### 別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

亀川地区市営住宅集約建替事業により建設をしていた市営住宅が完成することに伴い、条例を改正しようとするものです。

### ●その他

#### 市長専決処分について

今後の新型コロナウイルスワクチンの接種及び第49回衆議院議員選挙の執行に対応するため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、市長において専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めます。

## 第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第59号	令和3年度別府市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 (全会一致)	議第79号	令和2年度別府市水道事業会計決算の認定について	認定 (全会一致)	
議第60号	令和3年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第80号	令和2年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について		
議第61号	令和3年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第1号)		議第81号	別府市教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて(寺岡 悌二)	同意 (全会一致)	
議第62号	令和3年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第82号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(荒金 卓雄)		
議第63号	令和3年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		議第83号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(三重 忠昭)		
議第64号	別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		議第84号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(阿部 真一)		
議第65号	別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について		議第85号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(末田 信也)		
議第66号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		議第86号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて(安部 政信)		
議第67号	別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について		報告第9号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について	報告	
議第68号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		報告第10号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について		
議第69号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて		報告第11号	別府市国民保護計画の変更について		
議第70号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて		報告第12号	市長専決処分について		
議第71号	市長専決処分について		承認 (全会一致)	議員提出議案第6号	出産育児一時金の増額を求める意見書	原案可決 (全会一致)
議第72号	令和2年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について		認定 (賛成多数)	議員提出議案第7号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	
議第73号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)	議員提出議案第8号	地方財政の充実・強化に関する意見書		
議第74号	令和2年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)	議員提出議案第9号	保健所機能の強化・充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書	原案否決 (賛成少数)	
議第75号	令和2年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について		議員提出議案第10号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決 (全会一致)	
議第76号	令和2年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	請願第1号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願	不採択 (賛成少数)	
議第77号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)		議員派遣	原案可決 (全会一致)	
議第78号	令和2年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)				

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民党議員団 10人							公明党 4人				自民新政会 3人			市民クラブ 3人			日本共産党議員団 2人		参野 1人				
			首藤正	野口哲	松川生	黒木愛	松川三	安部一	手束貴	阿部真	日名敦	梶田貢	堀本行	市原隆	荒金卓	穴井宏	山本成	森一大	小野正	加藤信	森山治		三重忠	平野文	美馬恭	泉武
議第72号	令和2年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第73号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第77号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第9号	保健所機能の強化・充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書	否決(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願	不採択(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和3年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 「別府市PCR検査センター」の開設期間延長について

**問** 開設期間を当初の8月末から12月末までに延長するに至った経緯、理由は。

**答** 現在の県内及び市内の感染者数も増加し感染拡大傾向が見られる中、引き続き無症状で感染に不安を感じる方の検査体制を維持し、検査を受けられる環境を整えておくことで、感染者の早期発見、さらに感染拡大の抑止によって市民の安心、安全の確保を目的に12月末まで開設期間を延長する考えに至りました。

**問** 現在の利用状況は。

**答** 8月31日現在まで、PCR検査の利用件数は9,421件、抗原検査の利用件数は4,405件の合計13,826件、1日平均で約198件の利用件数となっています。また陽性者数は94件確認されています。特に夏休みに入り市民はもとより、帰省された方や観光及びビジネス客等多くの方に検査センターを利用いただくようになり、開設から7月末までは1日平均で約70件の利用件数でしたが、8月に入り1日平均で約355件と大幅に利用件数も増加している状況です。

## 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

### ● 総務企画消防委員会

大分県より高潮浸水想定区域に指定されたことに伴い、高潮ハザードマップの作成や配送に要する経費を計上しているとの説明がありました。委員から、配送先について質疑があり、当局から、高潮による浸水が想定される40箇所の自治会に対し、配送する旨の答弁がありました。

## 「北浜温泉テルマス」の廃止について

**問** 利用者数と経営収支の推移は。

**答** 利用者数は、平成12年度の約78,000人をピークに平成15年度までは6万人台で推移し、それ以降現在まで年間約4万人前後の状況です。経常収支は、開業当初から赤字運営となっており、近年は年間3千万円前後の赤字となっています。

**問** 慢性的な経営赤字から、廃止決定をした主な要因は。

**答** 廃止決定をした主な要因としては、慢性的な赤字のほか、①利用者目標や事業コンセプト達成の見込みがないこと、②今後、多額の施設改善費用が想定されること、③経営改善の目途が立たないこと、④別府市外部行政運営評価委員会から施設の今後のあり方について指摘があったことがあげられます。

**問** 入浴回数券購入者への返金の対象者数、返金額、返金方法は。

**答** 返金については、回数券の利用期限の関係など対象者数の特定は難しい面がありますので、ここ1年に購入された回数券のうち利用された回数券の残り約4,400回分を最大値として想定しております。返金額、返金方法については検討中ですが、利用者の方に不利益が出ないような方法で行いたいと考えております。

### ● 観光建設水道委員会

「議第67号 別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について」北浜温泉テルマスを令和4年3月31日をもって廃止するとの説明がありました。複数の委員から、健康教室の存続について質疑と要望があり、当局から代替案を協議しているとの答弁がありました。

### ● 厚生環境教育委員会

新型コロナウイルスの県内・市内の感染状況等を鑑みる中、検査体制を維持し、市民の安全、安心を確保するため、別府市PCR検査センターの開設期間を12月末まで延長することに伴う経費追加であるとの説明がありました。委員より、抗原検査キットに余剰がある場合は、市内の大学への配布を検討していただきたいとの意見がありました。

# 令和3年予算決算特別委員会(令和2年度決算認定審査)意見書

予算審議と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

## 1 持続可能な財政運営について

(1) 令和2年度末における地方債現在高は、大型事業実施の影響で前年度から約30億円増加している。臨時財政対策債の占める割合が大きいとはいえ、今後予定されている公共施設の老朽化対策による施設の改修、新図書館整備事業、学校給食共同調理場建替え事業など大型事業を実施するうえで、さらに多額の地方債の発行が必要であり、それに伴う公債費の増加が懸念される。公債費は令和4年度にピークを迎えるとも言え、地方税等の歳入が減少しているなかで、地方債の発行にあたっては、中長期的な償還計画を策定し、財政運営に支障をきたさないよう、事業計画や地方債の管理を適切に行い、持続可能な財政運営に取り組むこと。

(2) 一般会計における実質単年度収支は、5年ぶりに黒字となったが、今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策関連費の増加が見込まれること、少子高齢化による社会保障費の増加が続いていることから、持続可能な財政運営が図れるよう財政規律を緩めることなく、更なる収支改善に取り組むこと。

## 2 補助金の必要性の検証について

各種団体においては、コロナ禍により事業の実施が困難な状況も見受けられる。補助金の交付にあたっては、公益性や公平性を確保する必要から十分な審査と検証を実施し、必要最低限の予算執行とすること。補助事業完了後には、実績報告をもとに精査するとともに補助金等成果報告書により更なる透明性の確保に努めること。

## 3 移住定住の促進について

人口減少は消費市場・経済活動の縮小や税収減など、市の財政運営に大きな影響を及ぼすため、新型コロナウイルス感染症拡大により地方移住への関心が高まっているこの機をとらえて、以下の移住定住促進の施策を講じること。

(1) 中心部や郊外などエリアごとの特性を生かすため、市内全域を目標に空家バンクの登録増加に取

り組むこと。

(2) 移住に関心の高い「おためし移住施設」の利用者が確実に移住に結び付くように、温泉はもちろんのこと、病院、学校、買い物及び自然景観など利用者が求める情報の提供に努めること。

## 4 人員の確保について

ワクチン接種や公共施設の清掃・消毒など新型コロナウイルス感染症対策に伴う業務量の増加に対応するため、ICT推進による業務の効率化に取り組むとともに、現状を把握し、市民サービスに影響がないように必要な人員を確保すること。

また、コロナ禍が継続する中で、今後生活保護申請者が増える可能性があることから、申請者の不利益にならないよう相談体制の整備に努めるとともに、人員体制は柔軟に対応すること。

## 5 次年度の予算編成等について

令和4年度予算編成においては、コロナ感染症の長期化により、更なる財源確保が必要になると見込まれるため、事務事業の精査、縮小、廃止等を積極的に行うこと。

また、市民の健康・生活・事業・雇用を守る事業実施を最優先し、コロナ後を見据えた経済の反転攻勢に向けた施策や総合戦略推進に基づく、子育て支援、新図書館整備事業等、さらには、共生社会実現を推進する施策など、本市の将来を見据え、必要性、緊急性をもとに優先順位をつけたなかでの予算編成を実施すること。

加えて、近年多発する自然災害に対応するため、将来への投資的事業についても必要に応じ計画修正を行うなど、柔軟な事業執行に努めること。





# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では14名の議員が市当局の見解をたじました。主な内容は次のとおりです。スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

## 行財政改革クラブ

いずみ  
泉

たけひろ  
武弘 議員



### 「目を覆うほどの税金のムダ遣い」について

**問**▶ 別府市は副市長が代表を務める社団法人ビービズリンクに運営・事業費約7億円、仕事を2億3,700万円発注、合計9億3,700万円を税金から出している。ところが、ビービズリンクは、市から受けた仕事の半分近くを他の業者に回している。なぜ、市は入札をせずにビービズリンクに仕事を発注したのか。

**答**▶ ビービズリンクは、まち・ひと・しごと創生法に基づき、別府市総合戦略に設立及び活動等が定められ、地域再生計画、地方創生推進交付金実施計画等の事業推進主体として国の認定を受けた法人であり、性質、目的が競争入札に適さないと考えています。

**問**▶ 価格競争がなければ税金を有効に使うことができない。問題は、市が入札をしないで仕事を発注したこと、さらに、受けた仕事の半分近くを他の業者に発注していることであるが、市から受けた金額と、他の業者に発注した金額との差額はどのくらいあるのか。

**答**▶ 把握していません。

**問**▶ 令和元年度までの市からの受注金額と他の業者に発注した金額との差額が9,300万円。令和2年までの再発注は18件、受注に占める割合は48.6%となり半分近くを他の業者に委託している。なぜ、再委託するのか。

**答**▶ 一括再委託は行っていません。業務の一部再委託を行っていますが、業務全体の進行管理やプロデュースは、ビービズリンクにおいて適切に実施しています。

## 公明党

あらかね  
荒金

たくお  
卓雄 議員



### 「移転オープン5年目の市美術館」について

**問**▶ 平成29年10月に上人ヶ浜の旧美術館から移転オープンしたが、その前後の来館者数は。

**答**▶ 移転前の直近3年間の来館者は平均で約8,000人、移転後の平成30年度は11,523人、令和元年度は10,512人、同2年度は9,114人です。

**問**▶ 所蔵作品では、どのような特色やセールスポイントがあるのか。

**答**▶ 絵画、彫刻、書など美術品で711点、文化財歴史資料で2,706点、総計3,417点を所蔵しています。梅原龍三郎や安井曾太郎の洋画、福田平八郎や村上華岳の日本画などを含む近代絵画、約30点の現代絵画、また富永一朗氏の漫画53点と馬場のぼる氏などによる別府の観光地を描いた漫画16点などを中心に郷土にゆかりのある作家たちの作品を展示しています。そして、歴史民俗資料展示では、江戸時代から昭和中期までの農機具・生活用品などの民俗民具や、古代から江戸時代にかけての貨幣、全国各地の様々な郷土人形やコマを紹介しています。

**問**▶ 美術館の魅力を、積極的に市民に発信してほしい。

**答**▶ 今後、常設など所蔵品のデジタルアーカイブ化について、著作権の問題などを調査研究し、より多くの市民の目に触れるよう取り組みを図っていきたいと考えています。

## 日本共産党議員団

ひらの  
平野

ふみかつ  
文活 議員



### 「コロナから市民の命を守ること」について

**問**▶ 7月から始まった感染第5波は、感染力が強く、若い世代に感染者が多いのが特徴。年代別のワクチン接種率や、今後の予定はどうか。

**答**▶ 10代以下は11%、20代は23%、30代は



29%、40代は34%、50代は51%、60～64歳は80%、65歳以上は85%で、10月末には希望者の80%の接種が終わる予定です。

**問**▶ 大分県が実施している検査は、発熱など症状のある人、感染者と接触した可能性のある人に対象が限定されているのに比べ、市が旧山の手中学校跡地に設置したPCR検査センターは「無症状者を対象に、何時でも、誰でも、何度でも、無料で」検査が受けられる。その結果、県の検査では見つけれない陽性者を8月末までに94人も発見している。この施設の利用をもっとアピールすべきでは。

**答**▶ チラシの配布、大学や経済団体への要請などしてきましたが、今後も周知徹底に努めます。

**問**▶ 8月末から9月上旬にかけて9人もコロナで死亡した。4人は自宅などで死亡した後の検査でコロナと判明している。自宅療養者の健康観察などは市としてもできるのでは。

**答**▶ 県からも「自宅療養者への生活支援等の依頼を行う場合もある」と通知があり、市としても要請には対応したいと考えています。

#### 自民党議員団

ひなご あつこ  
白名子 敦子 議員



### 「スポーツ施設の利用状況」について

**問**▶ 実相寺グラウンドは規則により制限されているためなかなか予約できないが、多くの方に利用出来るように検討してもらえないか。

**答**▶ 弾力的な施設運営を行い、多くの市民の方々にご利用いただけるよう努めてまいりたいと考えています。

**問**▶ 市民球場の8月の詳しい予約状況は。

**答**▶ 31日のうち27日は予約が出来ない状況であり、その内訳は大会等の予約が18日、球場の整備が9日となっています。

**問**▶ 予約がキャンセルになった場合、速やかにインターネットの予約システムで利用可能にしたり、球場の整備についても時期によっては日数を考慮するなど、もっと利用者に配慮した施設運営を心掛けてほしいが、市としての考えは。

**答**▶ 今後は指定管理と連携を図り、キャンセルが発生した場合の情報発信の方法や整備時間の短縮など見直しを行い、効率的な施設運営に努め、議員ご指摘のようにより多くの方に施設を利用させていただきたいと考えています。

#### 市民クラブ

かとう のぶやす  
加藤 信康 議員



### 「学校給食調理場計画及び定年延長」について

**問**▶ 新学校給食調理場整備計画において、日本一安心安全でおいしい給食を提供するためには何が一番大事と考えているか。

**答**▶ 日本一おいしい給食とは味はもちろん、食物アレルギー対応をはじめ、地産地消や食育の充実など子供たちの心にも体にもおいしい給食のことです。施設整備に加え、調理員や配送員等が快適に働ける環境を整えるとともに、各学校と連携し栄養教諭や教職員などの人材を育成することが大切だと考えています。

**問**▶ 市職員の定年延長のスケジュールは。

**答**▶ 令和4年9月の市議会定例会において条例改正を上程し、令和5年4月1日から導入し、令和13年度で制度完成を目指します。

**問**▶ 定年延長が始まれば二年に一度しか退職者が出なくなる。組織の新陳代謝は必要であり若い職員の採用は大事だがどのように考えているか。

**答**▶ 若い世代の雇用確保は大きな課題です。継続した採用により、安定したマンパワーの確保を行いたいと考えています。

#### 公明党

ほりもと ひろゆき  
堀本 博行 議員



### 「生理の貧困問題」について

**問**▶ 今年の3月と4月にNHKのテレビ番組で2度にわたり「生理の貧困問題」の実態が放映され、以来、日本でもこの問題が全国的に広がり政治や行政からも大きな関心を集め、学校や役所で無償配布を実施または実施に向けて検討している自治体が今年5月の時点で255の自治体だったが、7月には581の自治体にまで広がるなど今では大きな行政課題となっている。そこで、別府市内の小中学校の対応を伺いたい。全国的には小中学校に設置している自治体もあるようだが、このことについて、どのように考えているか。

**答**▶ 小中学校では全ての学校の保健室に生理用

品を常備し、必要とする児童生徒に渡していません。家庭と連携して支援を行っている子どももいます。コロナ禍により利用の頻度が増えた状況については、現時点では見受けられませんが「生理用品が欲しいと言いだせない」子どもへの具体的な配慮を進めていく必要があります。今後は「貧困」のみならず、家庭の状況等により、子どもが生理用品に関して困りを感じている可能性があること、また「生理用品が欲しいと言いだせない」子どもへの支援が必要であることについて、改めて各学校に周知するとともに、トイレへの設置も含めた、子どもの心情に配慮した対応について、学校関係者等との協議を進め、具体的な支援をできるだけはやく開始したいと考えています。

日本共産党議員団

みま きょうこ  
美馬 恭子 議員



## 「新型コロナウイルス感染症」について

**問** ▶ 本年7月に日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会など9団体が「新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大への緊急声明」を出した。その中には医療提供体制の確保の取組みや有事の医療と通常の診療の両立、入院病床の確保等の項目があり、感染者が増えれば医療現場も逼迫するとともに感染者の調整を行う保健所の負担も増えることになる。さらに感染病床の確保やそこに携わる医療、看護職の負担も増えてくる。別府市のように10万人以上の市町村に保健所機能が備わっていないのも大きな課題だと考えている。感染拡大の抑止にはスムーズに動くことができる機能、人材が存在していることが重要である。そこで、別府市として保健所機能の強化や充実、感染症病床の増床および医療、看護現場の充実などの実現を求めてほしいと考えるが、その点については如何か。

**答** ▶ 国、県が進める感染症対策並びに医療体制の整備や感染者の受入体制を注視していく中でご意見として承り、今後様々な機会の中で貴重な意見として伝えていきたいと考えています。保健所業務が感染対策の増大により機能不全とならないように別府市としても要請には対応できるように備えていきます。

市民クラブ

みえ ただあき  
三重 忠昭 議員



## 「幼・小中学校のコロナ感染対策」について

**問** ▶ 緊急事態宣言・まん延防止などに指定された場合の対応について、事前に対応を検討して指針を公表しておくべきではないか。

**答** ▶ ご指摘の通りあらかじめ整理しておくことが重要です。市教育委員会においても指針を定め、保健所への協力、安全が確認されるまでの間の臨時休校の判断基準を定め保護者に通知しています。状況が悪化した場合も指針をもとに学校・教育委員会・保健所と連携して迅速に対応していきます。

**問** ▶ 学校給食調理員が感染した場合、児童生徒への給食の提供はどうか。

**答** ▶ 献立を簡易なものに変更したり、調理員を派遣して可能な限り提供しますが、困難な場合は保護者へ弁当対応を依頼します。今後不測の事態に対応するため、広域的な観点から方策を検討していきます。

**問** ▶ コロナ禍が長引くなかで、経済状況が悪化する家庭も増えている。他市では期間を設け給食費の無償化を実施している。別府市にはその考えはないか。

**答** ▶ これまでも様々な支援策を講じてきていますが、今後もコロナの影響によって支援を必要とする子育て世帯の負担軽減策について情報収集に努めてまいります。

公明党

あない こうじ  
穴井 宏二 議員



## 「未就園児」について

**問** ▶ 子どもの貧困などの問題が社会問題になっており、幼児教育が貧困の連鎖を絶つひとつの鍵として注目されているが、市内の未就学児のうち、幼稚園や保育園に所属していない、いわゆる未就園児は何人くらいいるのか。

**答** ▶ 令和3年8月1日時点での就学前児童、0歳から5歳の児童数は4,469人で、そのうち未就園児は約1,600人と見込まれています。

**問**▶ 北里大学が発表した研究において、全国から抽出した3、4歳時点で保育園、幼稚園、認定こども園に通っていない未就園児の要因を調べた結果、3歳以下の未就園児は低所得、多国籍など社会経済的に不利な家庭や、発達や健康、児童虐待の問題を抱えた子どもで多い傾向があり全国で約14万人いるようである。市の子育て支援相談室では、令和2年度に虐待を受けた就学前の子どもに関する相談は164件で児童虐待相談の53%である。就学前の未就園児となっている理由の把握と今後の対応は行うのか。

**答**▶ 別府市では、対象世帯への全戸調査は行っておりませんが、今後の第3期子ども・子育て支援計画策定時に未就園児等の調査を行うことは可能と思われるので内容等検討していきたいと考えています。

自民新政会

もり 森 だいまけ 大輔 議員



## 「不透明な別府市行政のあり方を質す」

**問**▶ これまで8,260万円支出し「地域経済活性化アドバイザー」を雇用しているが、雇用金額は別府市長の月額報酬約89万円より高額なのか。

**答**▶ 移動費や滞在費等の諸経費を含む委託料であり、平均的な水準であると考えます。

**問**▶ 否定しないのでそのように理解するが、市民所得の平均が年間約230万円の別府市において、市長報酬より高額と試算されるアドバイザー委託料は市民の理解を得られるのか。こんな高額委託事業が本当に効率的で効果的な税金の使い方なのか。

**答**▶ 観光産業の発展に十分に実績を上げていますが、次年度以降の契約については考えていきます。

**問**▶ 別府市行政の問題点は矛盾である。これまで市は、利用者負担の徹底や財政上の理由等で市営施設の値上げ、市営温泉無料入浴券や高齢祝金の廃止、そして福祉サービスの見直しなど市民生活に痛みを伴う予算削減を提案してきた一方で、市が作ったビービズリンクには、5年間で9億円以上の税金を使っている。しかもビービズは税金を用いて事業者選定を行っているにもかかわらず、行政ルール

に縛られず、恣意的に事業者選定が出来ることが問題視されている。利害関係者と公務員の関わり方、税金の使い方が不適切ではないか。

**答**▶ 法人内のルールに基づき、適正に契約を行っていますが、市民の皆様にご疑念をもたれないよう透明性・公正性を高めていきます。

**問**▶ ビービズは非営利の一般社団法人なのか。それとも営利目的なのか。

**答**▶ 地域課題の解決や活性化に取り組みながら利益を追求し、利益の中から新たな事業を行うものです。

自民党議員団

まつかわ 松川 みねお 峰生 議員



## 「ヤングケアラー」について

**問**▶ ヤングケアラーは大人が担うような家事や病気、障害のある家族の介護を日常的におこなっている18歳未満の子どもを指し、自由な時間がとれず、学校や進路に影響を及ぼすだけでなく、健全な発育や人間関係の構築を阻むとされる。ヤングケアラーについて子育て支援課はどのような認識をもっているのか。

**答**▶ ヤングケアラーとされる子どもは、日常的に本来大人が担うと想定される家事や家族の世話をすることにより学校に行けなかったり、子ども自身がやりたいことができないなど、本来守られるべき子ども自身の権利が守られておらず、その背景には、少子高齢化や核家族化の進展、共稼ぎ世帯の増加、家庭の経済状況の変化の要因があると考えており、『自身がヤングケアラーなのかかわからない』とする子どももいると認識しています。

**問**▶ 今後の支援と対応について教育部の考えは。

**答**▶ 日々の学校生活の把握からヤングケアラーを発見しやすい立場にあることを認識し、常に実態把握に努め支援につなげていくよう、校長会等を通じて教職員に周知いたします。各学校では専門スタッフを活用した児童生徒のアセスメントにより、子育て支援課等関係機関と連携した、具体的な支援につなげてまいります。

自民党議員団

あべ いちろう  
安部 一郎 議員



## 「契約、スポーツ施設の再編、災害時における情報伝達」について

**問**▶ 新共同調理場への食材等の納品については、仮に運営委託となった場合は利益優先で市外県外の食材が大多数を占めるのではないかと心配しているが如何か。

**答**▶ 市内業者からの調達を基本に、これまで別府市の子供たちを育ててくださった地元納入業者の皆様とともに安全安心で日本一おいしい給食が提供できる方法を引き続き検討してまいります。

**問**▶ 別府国際観光港多目的広場の他にも、あまり使われていないグラウンドなど、もっとうまく活用できる未利用地が様々あると思うので、この際、スポーツ推進課が中心となってスポーツ団体の受け皿を検討する必要があると思うが、如何か。

**答**▶ 競技スポーツや生涯スポーツを推進するうえで、スポーツ施設が少ないことは課題の一つであります。スポーツ施設以外の公園などでスポーツ利用する場合、利用実態を踏まえて議論していく必要があると考えています。

**問**▶ フェイスブック「別府市災害連絡掲示板」について他の活用方法として、市内の災害状況等の写真や動画をアップしてもらってはどうか。

**答**▶ フェイスブックを情報発信と同時に情報収集の場として有効利用していけるようにし、日々進歩するデジタルの力を災害対策に活用していきたいと考えています。

自民党議員団

ます だ みつぐ  
栂田 貢 議員



## 「楠銀天街」について

**問**▶ アーケードについて、通り会が対応できない状況であるため、行政としての対応が必要な段階にきていると思うが、こういった課題があると考えているか。アーケードについては、地元の理解と協力などを条件として、市が解体する方向で進めていくしかないと思う。様々な課題や条件もあり、大変だと思う

が、前向きに進めてほしい。

**答**▶ アーケードについては、所有者が通り会であるため、原則的には市での対応は難しい面があります。しかしながら、安全な道路通行の確保を図るため、関係部局と連携し、地元の関係者と協議しながら、市としての対応を検討していきたいと考えています。課題としましては、通りに接している建物も老朽化していることや、土地・建物所有者、店舗経営者、居住者など様々な関係者との意見調整が必要なことなど、多くの課題があります。アーケードの問題につきましては、地元関係者の協力が前提条件となりますが、できるだけ早い時期に関係者と協議の場をもちながら、進めていきたいと考えています。

公明党

いち はら たか お  
市原 隆生 議員



## 「教育施設の集団感染対策」について

**問**▶ 幼稚園や小・中学校ではどのような感染対策をしているのか。

**答**▶ マスクの着用、手洗いの励行、給食時の黙食、消毒液の配置、常時換気、健康観察カードの配布、抗原検査キットの配布、感染症対策業務従事員による適時消毒を実施しています。

**問**▶ オゾンやイオン、紫外線等によってウイルスの動きを封じ込めてしまう機器を活用している学校もある。調査したところ、関西の高校では保護者からの要望があり、10年以上前からオゾン発生器を各教室に導入し、インフルエンザウイルス対策としている。効果については、今までもインフルエンザに感染した生徒は何人もいるが、校内で感染が広がったケースは一度も無いようである。別府市では現在、授業中は窓を閉め、休み時間に窓を開けての換気がコロナ対策だということだが、市内には標高の高い所にある学校もあり冬は大変寒い。一日も早く設備を整え、窓を閉めて児童生徒が集中できる授業をしてほしい。

**答**▶ 機器等について調査研究し、良い教育環境を提供したいと思います。

# 新型コロナウイルス感染症対策に係る 市議会の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、観光都市である本市の経済は甚大な影響を受けており、感染者数は今もなお増加と減少を繰り返すなど、収束が見通せない状況です。しかしながら、希望される方のワクチン接種も10月中には終了する見込みであり、少しずつですが光が見え始めた気がします。そのような中、私たち別府市議会も、市民の負託に応えるべく、市民の「雇用を守る」「事業を守る」「健康・生活を守る」事業が速やかに実施できるように、定例会の短縮や臨時議会の開催など、執行機関に最大限の協力をしています。

また、9月議会にて開催された予算決算特別委員会では、令和2年度におけるコロナ対策の取組について審査するとともに、令和3年度及び令和4年度においても、引き続き最優先でコロナ対策に取り組むよう要望いたしました。

今後も、柔軟な議会運営に尽力し、コロナ禍で困難に直面する方々に寄り添い、市民福祉の向上に資するという議会本来の役割を果たしていけるよう、議員一同、全力で取り組んでいく所存です。

市民の皆さま、事業者の皆さま、コロナ禍が収束すれば、別府観光は必ず復活しますので、コロナに負けることなく、ともにこの局面を乗り越えていきましょう。

別府市議会議長 松川 章三

## 傍聴における新型コロナウイルス感染症対策

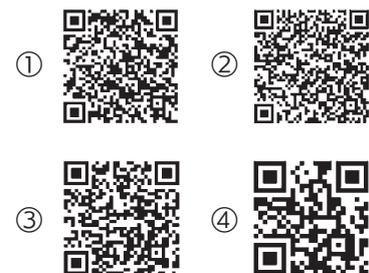
本会議の様子は、議場での傍聴はもちろん、別府市議会インターネット中継のライブ映像と録画映像からご覧いただくことができます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴以外の手法もぜひご活用ください。

また、傍聴にお越しの際は、感染拡大防止の観点から、以下の点についてご協力をお願いいたします。

1. 入場前にマスクの着用、事前の手洗いの徹底をお願いいたします。
2. 入場時、入口にてアルコール消毒液による手指の消毒、検温をお願いいたします。(アルコール消毒液および非接触型の検温器は入口付近に設置しています。)
3. 発熱や咳等の症状がある場合は、傍聴をご遠慮ください。
4. ソーシャルディスタンス確保のため、傍聴席数を減らしています。このため、傍聴の定員を30名程度といたしますので、あらかじめご了承ください。

## 行政における支援制度のご案内

- 別府市** ■別府市民を対象とする支援制度…①  
■企業及び個人事業主を対象とする支援制度…②
- 大分県** ■大分県民及び事業者を対象とする支援制度…③
- 国** ■新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援のご案内…④



スマートフォン等で各QRコードを読み取ることで、各種支援にアクセスができます

## 市長へ意見書を提出しました



長野市長に意見書を提出する松川議長、荒金委員長

予算決算特別委員会では、当初予算審議と決算認定審査の循環性を図るため、委員会においてとりまとめを行った改善提案等を本委員会の意見書として市長に提出し、令和4年度の当初予算編成に反映することを要望しました。

また、次回の委員会において、その取り組みについての回答を提出するよう求めました。



## //////// 請願・陳情 //////////

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局までお問合せください。

なお、令和3年第4回定例会の請願の受付期限は11月18日(木) 17時までです。



## 令和3年第4回 市議会定例会会期日程(予定)

- 11月29日 議案上程
- 12月2日 議案質疑・委員会付託
- 3日 常任委員会審査
- 6～9日 一般質問
- 13日 委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

## 本会議を 中継しています

中継しています



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

### 放送日時

本会議開催日(午前10時から)

### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

### 放送メディア

ケーブルテレビでの中継

CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

インターネットでの中継

別府市議会ホームページ

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

[a.jp/gikai/](https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/)

にアクセスしてお入りください。

(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会中継は公式記録ではありません。

公式記録は本会議後に調製する会議録となります。

※議会中継は公式記録ではありません。



## 編集後記



食欲、運動の秋のシーズンが終わり肌寒いシーズンに入りました。

新型コロナウイルスの影響で厳しい経済状況が続いています。

今定例議会では、コロナ対策のため旧山の手小学校跡地のPCR検査センターの延期をはじめ様々な予算議案を可決しました。

議会としてしっかり市民の皆さまの意見を取り入れ、チェック機能を果たすべく邁進しております。

今後はアフターコロナに向けてしっかり議論を行ってまいります。次号からの(市議会だより)にご期待ください。市民の皆様からのご意見・ご要望欄が市議会のホームページに新たにできましたので、皆様のご意見お待ちしております。

別府市議会広報広聴委員会

委員 榎田 貢